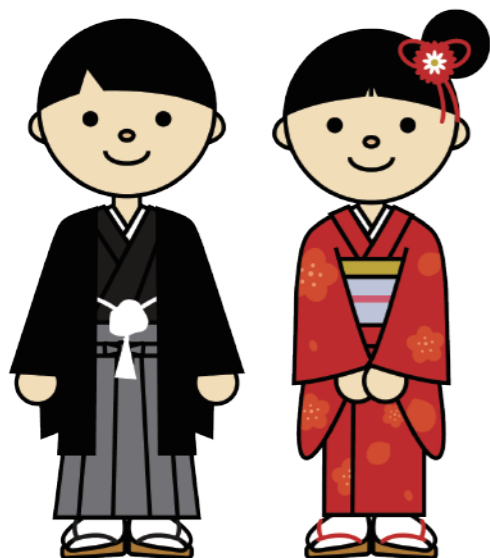


天星 Magazine

vol.14
Apr. 2024

No.06 四季のおたより

【子どもの成長を願う行事「十三参り」とは?】



十三参りとは、3月13日から5月13日の期間に男女とも数え13歳で行う祝いの行事です。京都発祥の行事で、長らく関西地方で行われてきましたが、徐々に関東方面へ伝わったとされています。とくに、京都の法輪寺における虚空蔵菩薩への十三参りは有名で、**虚空蔵菩薩は13番目に誕生した知恵と福德を司る菩薩とされています。**関西では、七五三より十三参りが盛んな地域も多く存在します。中でも京都嵐山の法輪寺、大阪の太平寺、奈良の弘仁寺が有名です。関東では茨城県や栃木県でも盛んに行われています。お参りの際は、大人用の着物を肩上げて着用し、大切な漢字をしたため奉納して、御祈祷を受けます。13歳まで無事に成長したことを感謝し、心身ともに大きく発達するこの時期に、立派な大人になれるよう祈念するという意味合いがあります。この伝統行事は、子どもたちにとって大切な節目であり、家族や地域の絆を深める機会にもなっています。

No.07 天星★二都物語

Episode.3 【信玄や家康も好んだ郷土の味「味噌」】

日本の食について語る時に欠かせない調味料の一つ、味噌。その歴史は諸説ありますが、古代中国の醤（塩と麴を発酵させたもの）が起源で、1300年以上前に日本に伝えられたという説が有力です。味噌は古くから日本各地の風土に根付いてきました。それだけに、同じ材料であっても味や香り、色合いなどすべてが違うため、「**究極の郷土料理**」とも言われています。今回は、山梨県と静岡県で親しまれてきた味噌をご紹介します。

★味噌は、使う麴によって大きく3つに分かれています。米麴と大豆と塩で作る米味噌、麦麴と大豆と塩で作る麦味噌、麴にした大豆と塩だけで作る豆味噌です。日本で作られる味噌の約80%が米麴を使った米味噌なのは、お米が主食の国ならではのと言えるでしょう。しかし、笛吹市が位置する山梨県は、山が多く耕作面積が少ないため、味噌作り

に必要な米麴の確保が難しい地域でした。そこで稲作の合間を縫って麦を育て、主食に充てると同時に麦麴の材料にして、米麴不足を補ったそうです。こうして米麴と麦麴をブレンドして仕込む「甲州味噌」が誕生しました。**この合理的な方法を考案したのは、戦国大名の武田信玄と伝えられています。**2種類の麴が合わさった甲州味噌は、まろやかでさっぱりとした味。山梨県の名物料理「ほうとう」の名脇役です。笛吹市には、怪我や病気の治癒を願ってお地藏様に味噌を塗ってお参りする「みそなめ地藏」が現存しています。さて、対する静岡県の味噌を紹介する際に欠かせないキーワードが大井川です。**大井川は日本の食文化を東西に分ける指標と言われている、静岡県を南北に流れるこの川を境に県の食文化も二分されています。**大井川以東の駿河と呼ばれた地域を代表するのは相白味噌という米味噌です。関西の白色で甘みのある米味噌と

信州の淡色で辛口の米味噌の中間的な性質を持ち、あっさりとした甘口です。まさに東西の食文化の融合と言えますね。大井川以西の中でも遠州は隣接する愛知県の影響が強く、米味噌よりも豆味噌が普及していました。400年以上の歴史を持つ浜松名物の「浜納豆」は、茹で大豆に麴を加えて熟成させた塩納豆で、一般的な糸引き納豆ではなく豆味噌を思わせる味わいです。**浜納豆は豆味噌好きで知られる徳川家康も好んで食べてと言われて**います。今や全国のご当地味噌が簡単に手に入る時代ですが、子どもの頃から慣れ親しんできた「我が家で使う味噌」は特別な存在です。改めてそのルーツを調べてみてはいかがでしょうか。



参考文献：成瀬宇平『47 都道府県・伝統調味料百科』丸善出版

No.01 編集長カワイのご近所探訪記 file#09

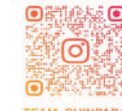
★ 新原野球少年団

活動内容などは HP や instagram でご確認ください。

< HP >



< instagram >



TEAM_SHINPARA



川合：本日は新原野球少年団の監督を務められている市川様に、同少年団の活動について伺っていきます。まず初めに少年団の主な活動について教えてください。

市川：新原野球少年団は現在53期生で、小学1年生から6年生の子どもたちが在籍しております。土曜日と日曜日、祝日の週2日～3日を活動日としており、大会前になると平日も練習をすることがあります。浜名区の宮口にある梶池グラウンドを拠点として、練習日は8:00～16:00を目安に練習をしています。**私も9期生として所属しておりましたのでOBになります。**

川合：実際、練習を見させていただくと、指導している方がたくさんいる印象だったのですが、何人ぐらいいらっしゃるのですか？

市川：スタッフが6人おり、野球経

験者の親御さんにも参加していただいているので、総勢10人ほどで指導しています。あとは、不定期ですがOBの方で現役の野球選手が指導してくれることもあります。現在40名ほどの子どもたちが在籍していて、指導の目は行き届いていると思います。更に、スタッフに関しては、指導講習会に参加しているので保護者の方にも安心して任せられると思います。

川合：主に近隣の子どもたちが在籍しているのでしょうか？

市川：現在は、新原、鹿玉、内野、浜名、北浜北、笠井小学校の子どもたちがいますが、**地区の制限などはないので誰でも入団は可能です。**

川合：少年団となると親御さんのご協力や当番などはあるのでしょうか？

市川：月謝の3,000円やユニフォー

ムの背番号を縫ってもらう、送り迎え等のご協力は必要ですが、当番制などは一切ありません。川合：もし興味があって体験してみたいという方は、どうすればよいでしょうか？

市川：少年団のHPまたはinstagramもありますので、ご連絡いただければ体験はいつでも可能です。動ける格好さえして来てくれれば、道具もお貸しします。保護者の方が付き添っていただければ、年長さんからも体験は可能ですし女の子も募集しております。現在、女の子は3人在籍しておりますので、興味があれば来ていただきたいです。

川合：最後に、市川監督が一番大事にしていることを教えてください。

市川：一番は「どのチームより楽しく」を意識しています。野球を楽しんで好きになってもらうことが一番大事だと思っています。

川合：練習を見学して子どもたちの元気と笑顔がたくさん溢れている理由が分かりました。ぜひ少しでも興味のある方は体験に行ってみてはいかがでしょうか。本日はありがとうございました。

< 発行 >

天星製油株式会社

検索

< HP >



〒434-0003
静岡県浜松市浜名区新原 3833-1
TEL : 053-586-9911
http://www.tenboshi.com/

天星Magazine vol.14 2024年4月号

※この冊子が不要になりましたら「雑がみ」としてリサイクルにご協力ください。

天星製油の最新のニュースをお届けします！



編集長
カワイ



レスリング大会の様子

2月4日(日)、浜松市立笠井中学校体育館にて「令和5年度浜松市民スポーツ祭レスリング大会」が開催されました。大会には静岡県内と愛知県のレスリング教室に所属する児童・生徒約70名が幼年の部、小学生の部、中学生の部に分かれて試合をしました。

天星製油は大会の主催者であり、静岡県西部で唯一のレスリングクラブ「浜松S S F C」への支援を通して今大会に協賛し、弊社お取引先であるメロン農家さんの温室メロンやお菓子詰め合わせ、入賞者用賞品などを贈呈いたしました。特にメロンは好評で、抽選で当たった児童・生徒さんたちから歓声上がるほど大変喜ばれました。参加者の皆様、浜松S S F Cの皆様、お疲れ様でした！

※浜松S S F Cではメンバーを募集中です。お問い合わせは053-434-1630(坂田様)まで。



漏油訓練の様子

1月に漏油訓練を実施しました。今回の漏油訓練では、廃油回収時に担当者が漏油を起こしてしまったと仮定し、問答表を用いて現状把握や応援要請の訓練を行いました。訓練後、問答表を確認し各班でディスカッションを行い、今後の運用に関して検討しました。いざという時に冷静に行動できなければ、無用な混乱を招き事態を収拾することが難しくなります。

同月にはKYT(危険予知訓練)も実施しました。KYTとは、作業や職場に潜む危険性や有害性などを発見し、解決する能力を高める手法。今回は、さまざまな作業現場を想定し、作業や職場などで起こりうる事故や原因について議論するトレーニングを行いました。普段から「想像し考える」という頭の使い方で活動することで、未然に危険を防ぎ且つ効率的な行動を取ることが可能になります。

No.03 「旬」な天星スタッフご紹介！



水島龍太郎
営業1課

Q お仕事内容は？

タンクローリーで廃油の集荷業務を行っています。愛知県と浜松市の一部が担当エリアです。朝7時には会社を出発し、1日に平均8~10件ほど回っています。17年間交通事故なしです！



酒井駿成
精製課

Q お仕事内容は？

再生重油の生産ラインでの工程管理を担当しています。会社の商品になりますので、常に緊張感と責任をもって仕事に取り組んでいます。指導する立場になることが増えてきたので、後輩の見本となる行動も心掛けています。

Q 最近のトピックスは？

1年前から初めての1人暮らしを開始して、ようやく家事等が習慣化できたことです。今まで掃除や料理等の家事をほとんどしてこなかったので習慣化するのにも時間がかかりましたが、今では卒なくこなせるようになりました。できる限り自炊をしています！

Q これからの抱負をお願いします！

ヨーロッパへ旅行に行きたいです。小さい頃から英語を習っていて、学生時代にニュージーランドへの留学経験があり今でも英会話スクールへ通っているほど英語が好きです。旅行を通してヨーロッパの色々な文化について学びたいと思っています。

Q 最近のトピックスは？

来月で結婚20周年になります。普段あまり旅行にも行かないし、記念日なども祝ったりしないのですが、節目になりますので、河津桜を見る旅行に行きたいと思っています。ただ寒いのが苦手なので、早く暖かくなると嬉しいです(笑)

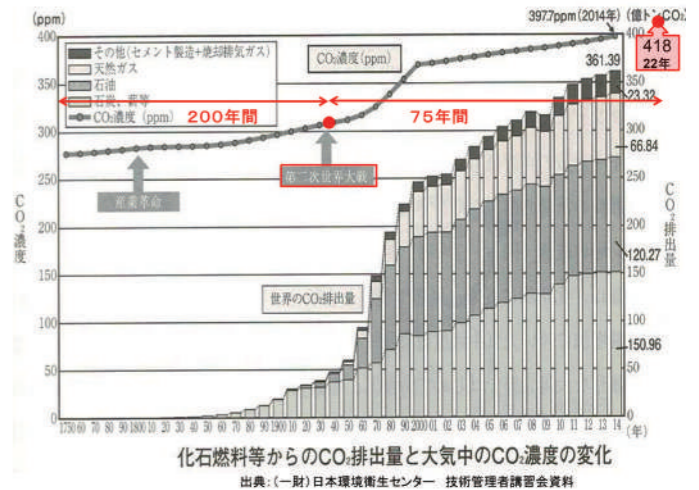
Q これからの抱負をお願いします！

コンサートで今まで聞いたことのない曲を聞いてみたいです。学生時代に吹奏楽をやっていたため音楽を聴くのが好きで、今もCDを買って自分の鑑賞部屋で聞いています。現在2000枚近く所有していますので管理が大変ですが、音楽の世界に魅了されています。

【地球温暖化を考える(その1)】

よもやま話の第1回目は「地球温暖化」についてです。読者の皆さんも地球温暖化によって異常気象が発生し、酷暑の連続や集中豪雨の多発など私たちの日常生活に大きな影響を与えているのはご存じのとおりです。地球温暖化の原因となる物質(「温室効果ガス」と呼びます。)は、二酸化炭素だけではなく、温室効果ガスのうち二酸化炭素はその大部分を占め、かつ温暖化を進める効果が高いことから、温暖化防止対策=二酸化炭素削減対策という流れになっています。もう一つの知識として知っておいて欲しいことは、温室効果ガスは、生物が生存するためには必要な物質であり、**これらが存在しない場合、地球の平均気温はマイナス19℃になってしまう**と見積もられていますので、一定量までは必要不可欠なものと言えることです。しかし、それも程度の問題で、産業革命以降に始まった化石燃料をエネルギー源とする世界的な工業化は、人類に繁栄をもたらした一方で、膨大な二酸化炭素を発生させ、大気中二酸化炭素濃度を増加させ続けてきました。その状況は下図のとおりです。二酸化炭素濃度は折れ線グラフで、二酸化炭素排出量は棒グラフで表しています。この表から判ることは次の2点です。①18世紀の産業革命以前は、280ppm程度であった二酸化炭素濃度がおよそ200年後の第2次世界大戦終了時には310ppm程度まで上昇していたこと。②終戦後は、石炭・石油・天然ガス等の燃焼に起因する二酸化炭素排出量が爆発的に増加した結果、わずか80年弱の期間で100ppm以上二酸化炭素濃度が上昇してしまい、現在では400ppmを超えてしまっていること。また、ガソリン・灯油等の使用により私たち一人ひとりが二酸化炭素の排出源になっていますし、間接的ですが、製品の購入や電力の使用を通じて、それに加担し

ていることを忘れてはなりません。今後、このまま二酸化炭素濃度の上昇が続けば、異常気象の発生確率が上がるだけでなく、海面上昇で水没する地域が拡大し、水不足の影響で米・トウモロコシ・小麦といった主要作物の収穫量が減り続けることが予測されています。**結果として、地球温暖化は環境問題の域を超えて人類の存亡に係る大問題となり得ることが危惧されているのです。** 次回は、その対策について書いてみたいと思います。(鎌田環境コンサルタント 鎌田俊己さん)



No.05 環境保全 Report

【環境測定のご報告】

2月6日(火)に環境保全協定に基づく企業連絡会を開催いたしました。この会合は毎年2月に行われます。新原下善自治会の方々と弊社社員で、運営状況と環境測定の結果について問題がないかを確認する機会になっています。今回は自治会と天星社員を含め6名で行いました。終始、穏やかな雰囲気での会合は進み、多くの意見をすり合わせる事が出来ました。**従業員では気づけない点や一般の方の目線からの貴重な意見を頂き、今後の運営の糧となっていくことを実感致しました。**

会社を運営していくためには、企業の一人よがりな行動は絶対に避けなければなりません。自治会をはじめそこに住まう住民の方々との協力は必要不可欠です。地域に根ざした取り組みを行うことがとても大切なことを理解し、今後とも自治会と連携していく所存です。地域の皆様方におかれましてもご理解ご協力の程よろしくお願い致します。



Key Word

- ☑ 漏油訓練(1月) 漏油事故を想定した電話対応についての実践訓練。
- ☑ KYT訓練(1月) イメージ画像を使用した「危険予知トレーニング」の実施。

項目	観測孔(水質)	放流水	
		生活環境項目	排ガス
実施日	(2023.12)	(2023.11~2024.01)	(2023.12)
測定結果	○	○	○